

「臨床倫理（第3回白浜記念）ワークショップ2013@東京」

主催 日本医学教育学会 第17期倫理プロフェッショナルリズム委員会

日時：2013年3月16日（土）13時～19時
2013年3月17日（日）9時～16時半

会場：東京大学本郷キャンパス医学部総合中央館（図書館）3階

（地図）http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_01_j.html

参加費用：参加費（資料代込み）5,000円、懇親会費3,000円（希望者のみ。事前申込必要。）

申込方法：

*WSの詳細、およびお申し込みは下記URLにアクセスして下さい。

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/philosophy/20130316-17WS.html>

締め切り：2013年3月5日締め切り

開催内容：

医学教育学会倫理教育・行動科学委員会の中心メンバーとしてご活動下さっていた故白浜雅司先生の遺志を継ぎ、2009年に「臨床倫理（第1回白浜記念）ワークショップ」を開催しましたが、この度、第2回（2012年）に続き、第3回を開催する運びとなりました。

WSの一般目標：臨床現場の倫理（臨床倫理）を多様な視座から検討し、現場に活かせる「倫理」を考え、病院職員等に対する効果的な臨床倫理の教育方法を、多種多様な方法論を用いて考察します。また今回は「ユネスコ生命倫理カリキュラム・ケーススタディーシリーズ」ケースブック翻訳プロジェクトを紹介する予定です。本ケースブックには63の実際の事例が紹介されており、症例提示と裁判所判決、そして倫理的考察がコンパクトにまとめられ、臨床倫理の学習・教育に非常に役立つものになっています。日本医学教育学会では、平成25年度初頭から翻訳事例を学会HPに掲載予定です。

募集人数・対象：48名（6グループ×8名）、医療専門職（医師だけではなく、看護師はじめ、コメディカルなどの多職種）と一般市民の方々（特に「倫理委員会」に関わっている方）を想定していますが、臨床倫理に関心のある方ならどなたでも参加可能です。奮ってご参加下さい。尚、定員を上回る応募がありました場合は、同一施設内の人数を制限させて頂くことがありますことを、予めご了承下さい。

内容・方法：WSの作業は、講師からのレクチャー、スモールグループ活動とプレゼンテーションを合わせて、ひとつのセッションで100分～120分を基本としています。予定しているセッション内容は、下記の通りです。*プログラムは変更されることがあります。ご了承下さい。

3月16日（土曜日）

1. 「ユネスコ生命倫理カリキュラム・ケーススタディーシリーズ」ケースブック翻訳プロジェクト（浅井篤：熊本大学大学院生命科学研究部）
2. 母体血を用いた「無侵襲的出生前遺伝学的検査（NIPGT）」をめぐる倫理的問題について考える（板井孝壱郎：宮崎大学医学部）
3. 実習「ともに考えるインフォームドコンセント」（尾藤誠司：東京医療センター）

3月17日（日曜日）

4. 透析の導入・中止をめぐる倫理的問題点（三浦靖彦：医療法人財団慈生会 野村病院）
5. がん医療におけるアドバンス・ケア・プランニング～乳がん患者との関わりを通して（江口恵子：社会医療法人博愛会 相良病院）
6. 臨床倫理と法～臨床倫理はだれが決める？～（山崎祥光：井上法律事務所）

問い合わせ先：

日本医学教育学会 倫理プロフェッショナルリズム委員会ワークショップ運営事務局

e-mail：rinripro@gmail.com（大生・井上）